

2026年3月期
第2四半期

決算補足 説明資料

11月10日



anicom

アニコム ホールディングス株式会社

証券コード：8715

全体目次

1 第2四半期 決算概要

2 重点施策の進捗状況

3 APPENDIX

1 第2四半期 決算概要

1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)
2. 損益計算書 サマリー
3. 経常費用・利益のパラメータ
4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分析)
5. 貸借対照表 サマリー





1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

経常収益

36,400 百万円

前年同期比**10.6%増**(3,496百万円増)計画は35,000百万円 **4.0%増**
うち、保険引受収益は前年同期比10.0%増(2,886百万円増)

のれん償却前 経常利益

2,227 百万円

前年同期比**31.6%減**(1,027百万円減)

経常利益

2,098 百万円

前年同期比**33.0%減**(1,031百万円減)計画は1,800百万円 **16.6%増**

順調な新規契約獲得と周辺事業の拡大を図りつつ着実に増収
他社契約移管コストの発生で減益ながら、半期計画を達成

■ 経常収益

- ペット保険の新規契約件数は**13.8万件**、同保有契約件数は**134.7万件**(8.9%増)と**更に伸長**
- 保険事業以外の、その他経常収益は**4,063百万円**(12.9%増)と**拡大**
- 資産運用収益は**663百万円**(28.3%増)となり、不透明な市場環境下で機動的な資産運用を図り、**引き続き前年を上回る進捗**

■ 経常利益

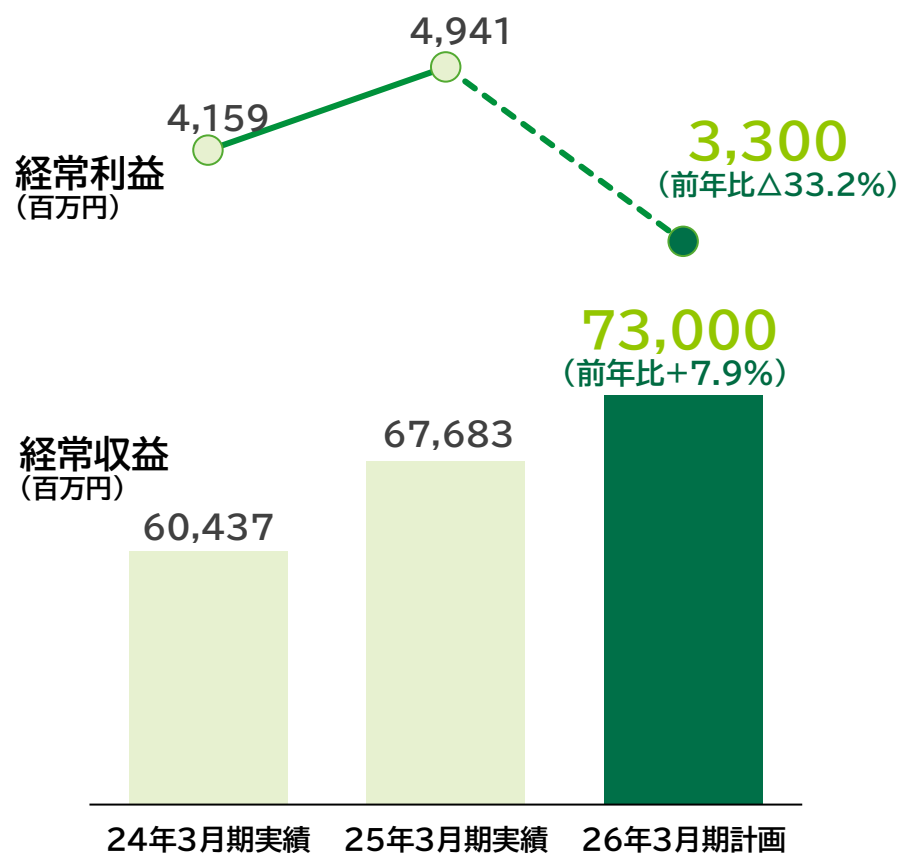
- アクサダイレクト契約移管コストの発生により**減益となりつつも、計画対比では順調に推移**



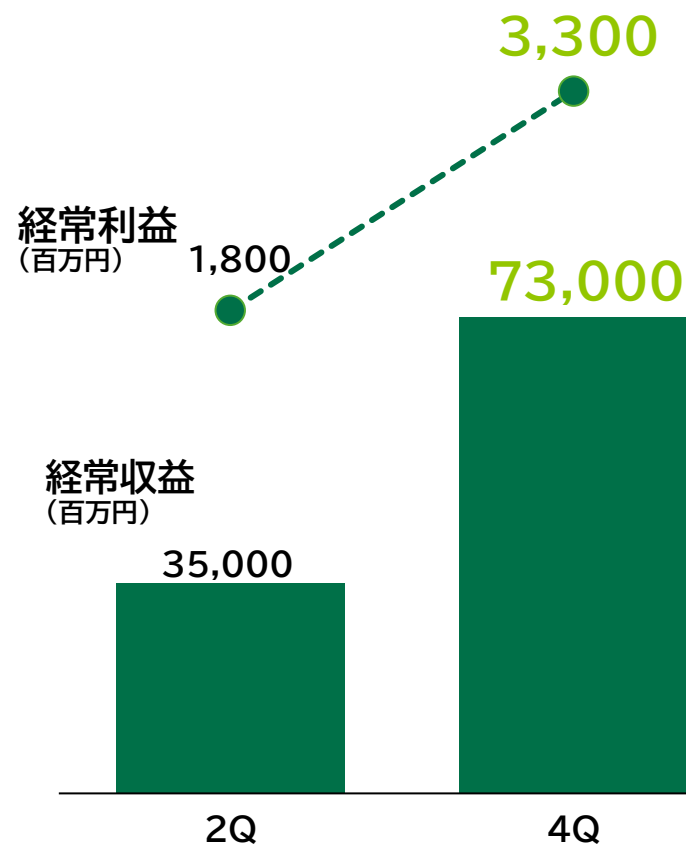
1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

(参考)2026年3月期 損益計画 (年間・半期累計)

年間計画



半期累計計画



2. 損益計算書 サマリー



(百万円)

	25年3月期 2Q	26年3月期 2Q	対前年同期比 増減率
経常収益	32,903	36,400	10.6 %
保険引受収益	28,787	31,674	10.0 %
資産運用収益	516	663	28.3 %
その他経常収益	3,599	4,063	12.9 %
経常費用	29,773	34,301	15.2 %
保険引受費用	19,930	22,291	11.8 %
・正味支払保険金	(16,507)	(18,392)	11.4 %
・損害調査費	(566)	(583)	3.0 %
・諸手数料及び集金費	(2,665)	(2,845)	6.8 %
・支払備金繰入額	(164)	(221)	34.1 %
・責任準備金繰入額	(26)	(249)	854.0 %
(うち未経過保険料)	(844)	(1,123)	33.1 %
(うち異常危険準備金)	(△ 818)	(△ 874)	- %
資産運用費用	2	0	△ 90.0 %
営業費及び一般管理費	8,478	10,449	23.2 %
その他経常費用	1,361	1,560	14.6 %
のれん償却前経常利益	3,254	2,227	△ 31.6 %
経常利益	3,130	2,098	△ 33.0 %
純利益	2,180	1,429	△ 34.4 %



2. 損益計算書 サマリー

(参考)アニコム損保 保険重要指標

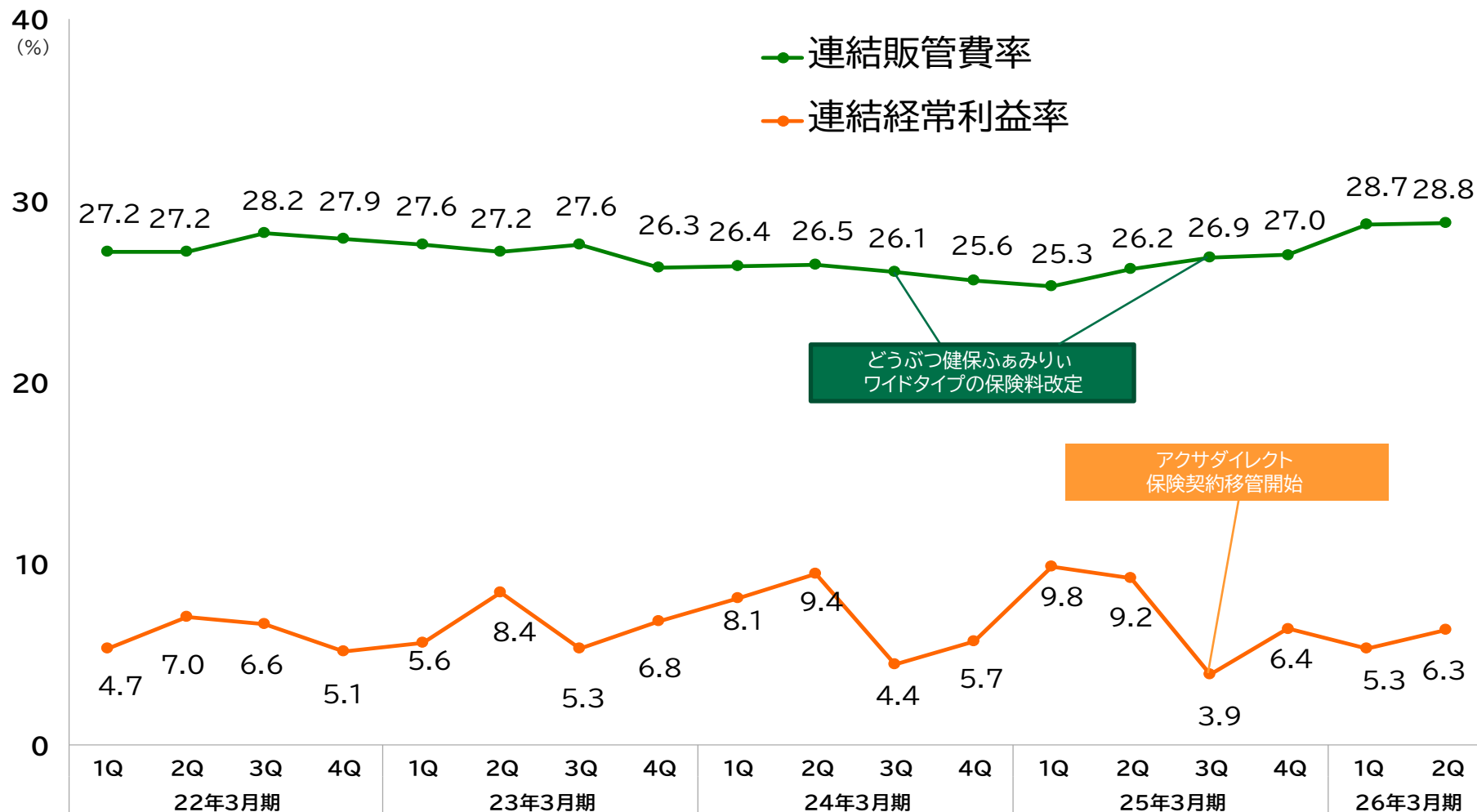
	25年3月期 2Q	26年3月期 2Q	(百万円) 対前年同期比 増減率
既経過保険料	28,076	30,683	9.3%
発生保険金(損害調査費含む)	17,238	19,196	11.4%
E/I損害率①	61.4%	62.6%	1.2pt
既経過保険料ベース事業費率②	32.1%	34.6%	2.5pt
(内、諸手数料及び集金費率)	(9.9%)	(9.8%)	(△0.1pt)
コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)①+②	93.5%	97.2%	3.7pt

3. 経常費用・利益のパラメータ

※販管費率、経常利益率(連結)



※ アニコム損保単体の経営パラメータ(損害率・事業費率・契約件数)はAPPENDIX参照



4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分析)

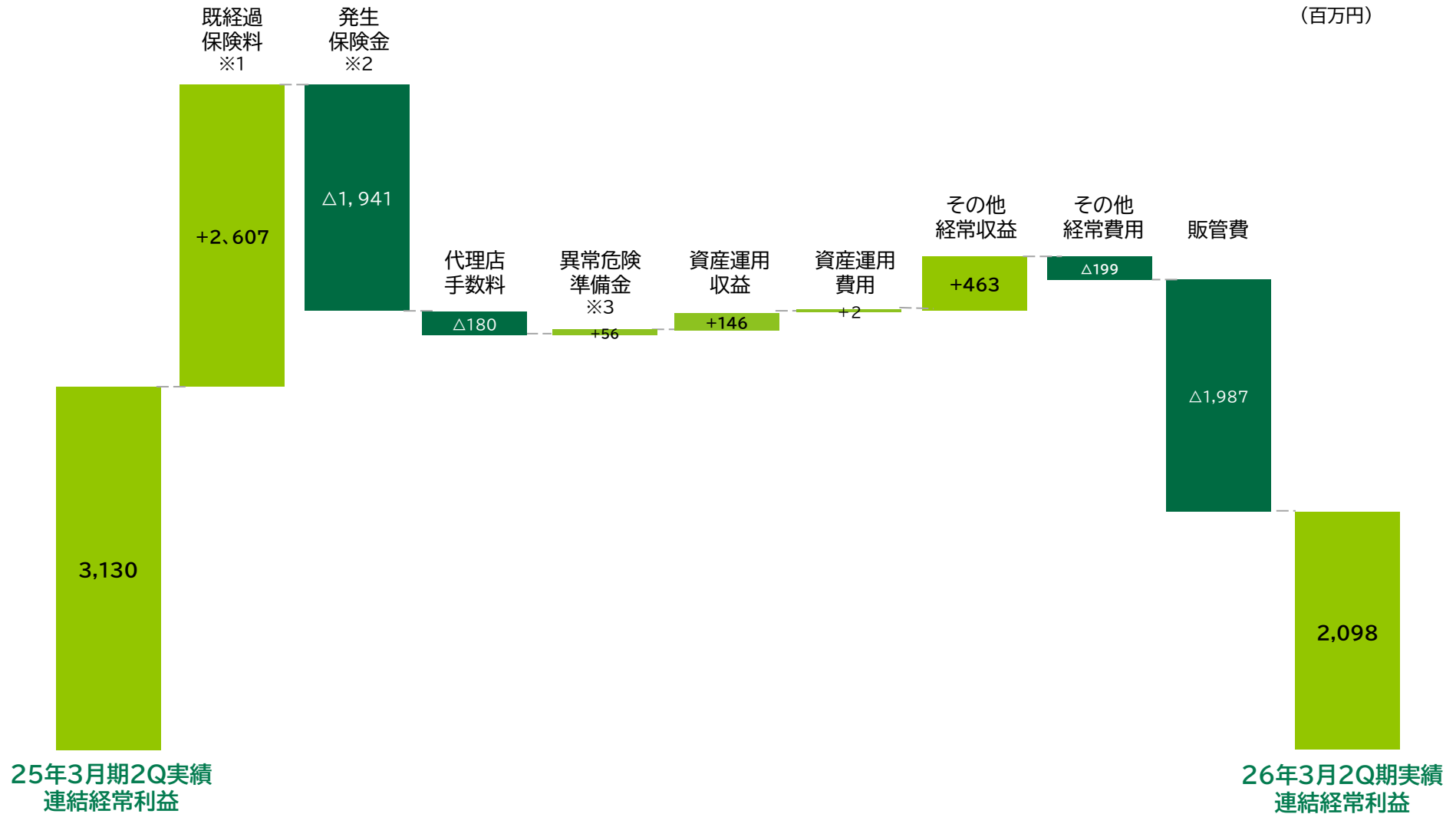


※1 既経過保険料＝保険引受収益－普通責任準備金繰入額(未経過保険料)

※2 発生保険金＝正味支払保険金＋支払備金繰入額

※3 異常危険準備金＝異常危険準備金繰入額＋異常危険準備金戻入額

(百万円)



5. 貸借対照表 サマリー



(百万円)

	25年3月期末	26年3月期 2Q	対前年末比 増減率
資産合計	72,494	74,673	3.0 %
現金及び預貯金	26,460	24,092	△ 8.9 %
有価証券	29,430	30,443	3.4 %
固定資産	7,014	10,753	53.3 %
その他資産	9,588	9,381	△ 2.2 %
負債合計	44,427	46,362	4.4 %
保険契約準備金	26,774	27,245	1.8 %
うち支払備金	3,532	3,753	6.3 %
うち責任準備金	23,242	23,491	1.1 %
社債	10,000	5,000	△ 50.0 %
その他負債	7,653	14,116	84.5 %
うち借入金	115	5,110	4,339.8 %
純資産合計	28,066	28,311	0.9 %
株主資本	30,132	29,925	△ 0.7 %
評価・換算差額等	△ 1,916	△ 1,465	— %
その他	△ 149	△ 149	— %
負債・純資産合計	72,494	74,673	3.0 %

② 重点施策の進捗状況

1. 重点施策の進捗状況（保険事業・資産運用・その他）
2. 重点施策の進捗状況（シナジー創出事業）
3. トピックス





1. 重点施策の進捗状況（保険事業・資産運用・その他）

保険事業

新規・保有契約の状況

新規契約獲得件数は、四半期単位6.8万件で高水準を維持
25年9月末の保有契約件数は134万件を突破

アクサダイレクトからの 契約移管

24年12月より移管が開始され、25年11月完了予定。

決算期	移管契約数	移管手数料
25年3月期	約1.1万件(実績)	約5.5億円(実績)
26年3月期 1Q	約0.8万件(実績)	約4.0億円(実績)
26年3月期 2Q	約0.9万件(実績)	約4.5億円(実績)

商品・サービスの拡大

「どうぶつ健活」の堅調な増加が寄与し、
継続率は88.4%と安定して高いレベルで推移

資産運用

柔軟かつ機動的な資産運用により、計画を達成

インカム収益を着実に積み上げながら、当初計画を上回る資産運用益を確保

その他

「従業員一人一特許戦略」の推進 25年9月末 発明者数146名

【分野別 特許件数】※25年9月末時点

	画像認識 AI	遺伝子 フード・ 腸内細菌叢	再生医療	その他	合計
特許 件数	10	10	2	3	25

【取得した特許の例】特許第7709178号

リンパ腫に罹患したイヌの化学療法後の予後を
予測する方法

予後が良好であるか否かの可能性を予測する方法を提供



2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業①)

産まれる前から

川 上



ブリーディングサポートの強化

動物愛護法の改正も踏まえ、
各施策を強力に推進中

マッチングサービス事業の強化

『みんなのブリーダー』『みんなの子猫ブリーダー』
撮影マッチングプラットフォーム
「AMI PHOTO」と提携



マッチングサービス事業 25年度2Q業績

- 売上高 : 1,158百万円(前年度 1,094百万円)
- 経常利益: 104百万円(前年度 188百万円)

注)売上高は外部売上、経常利益はのれん償却後

日々の暮らし

川 中



健診+口腔・腸内ケア商材の拡販

「どうぶつ健活」を通じた各種ケア商材の
試食会・勉強会を全国拠点にて開催



健康イノベーション事業 25年度2Q業績

- 売上高 : 260百万円(前年度 152百万円)
- 経常利益: △148百万円(前年度 △89百万円)

注)売上高は外部売上

治らないを治す

川 下



動物医療関連 (予防～一般・高度医療)

高度医療を提供する『JARVIS どうぶつ医療
センター Tokyo』開業(2025年10月1日)



左:手術支援ロボット ※イメージ
中央:320列マルチスライスCT
右:3テスラMRI

動物病院運営事業 25年度2Q業績

- 売上高 : 1,221百万円(前年度 1,162百万円)
- 経常利益: △108百万円(前年度 72百万円)

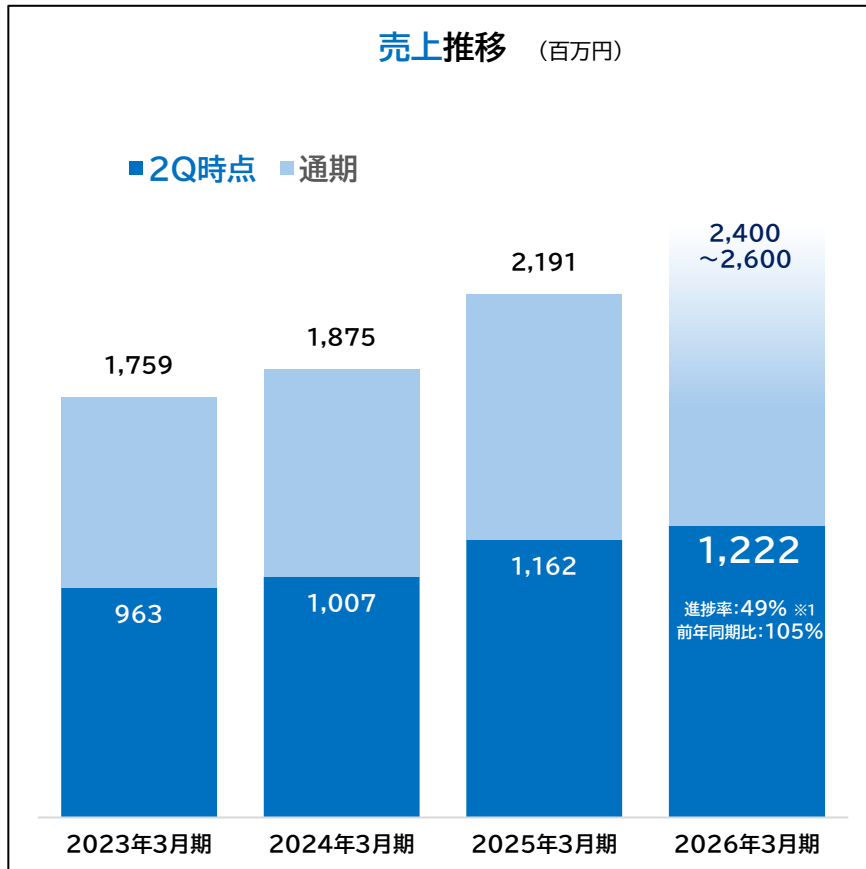
注)売上高は外部売上、経常利益はのれん償却後



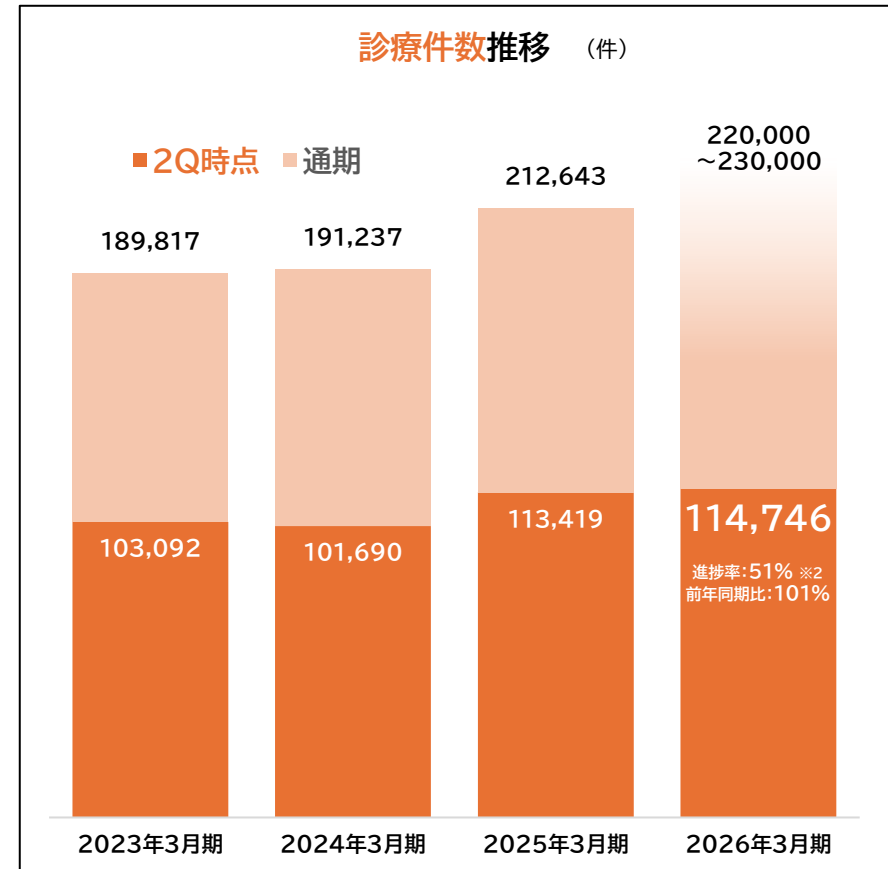
2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業②)

●動物病院運営事業主要KPI

25年10月1日より「JARVIS どうぶつ医療センター Tokyo」が開業。
2次診療および夜間診療を軸にさらなる拡大を見込む。



※1 通期の売上見込みを2,500百万円として算出

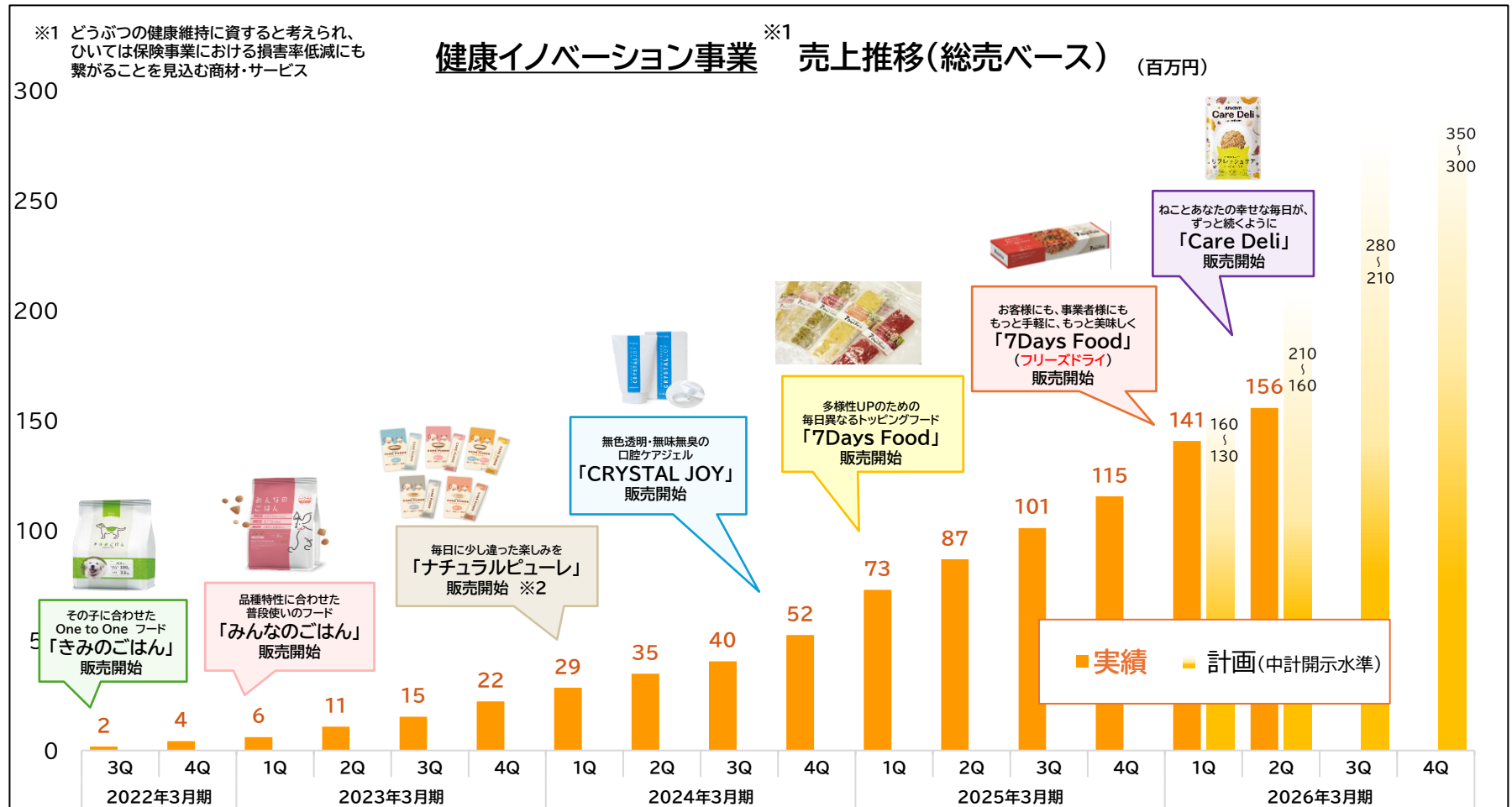


※2 通期の診療件数見込みを225,000件として算出

2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業②)

●健康イノベーション事業主要KPI

「CRYSTAL JOY」を中心に各商材が堅調に拡販。
また、猫用トッピングフード「Care Deli(ケアデリ)」を新規販売開始。



3. トピックス① 「どうぶつ健保」のブランド価値向上



オリコン顧客満足度®調査で1位を獲得

「2025年 オリコン顧客満足度®調査」のペット保険ランキングにおいて、「猫」「保険金・給付金」「窓口精算」「加入・更新手続き」の計4項目で第1位を受賞。「保険金・給付金」は9年連続の受賞。



▶10月1日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20251001/>

Insurance Asia Awardsで2部門を受賞

「Insurance Asia Awards 2025」において、2部門を受賞。「どうぶつ健保」の付帯サービス『どうぶつ健活』（腸内フローラ測定サービス）の取り組み、また「どうぶつ健康保険証」による窓口精算システムの取り組みがそれぞれ評価され受賞に至った。



▶7月9日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250709/>

「どうぶつ健保」全国7,000病院を突破

「どうぶつ健保」対応病院が全国で7,000病院を突破。窓口精算が可能なペット保険において、対応医療機関数7,000は日本最多となっている（2025年7月、アニコム損保調べ）。



▶7月24日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250724/>

住友生命・三井住友海上との業務締結

住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社とともに、ペット保険の普及と飼い主様を含むペットの健康増進に資する新たな取り組み等の検討に向けて、3社間での業務提携契約を締結。



▶7月29日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250729/>



『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo』10月1日に開院

『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo』は、幅広い診療分野に対応する動物病院。循環器部門、呼吸器部門、消化器部門、軟部外科部門、整形外科部門、脳神経部門、泌尿器部門、歯科口腔外科部門、総合診療部門を設け、各分野におけるスペシャリストが、どうぶつの診療にあたる。あわせて、充実した検査機器を備えた研究所も併設。獣医療の発展に資する各種研究開発を積極的に行い、予防・早期発見から専門的な医療まで一貫した獣医療体制を構築することで、個々のどうぶつに最適な医療の提供を目指す。また、どうぶつと飼い主様に“安心”を提供できるよう、手術室をガラス張りにし、見学可能にすることで「見える」施設を目指す。

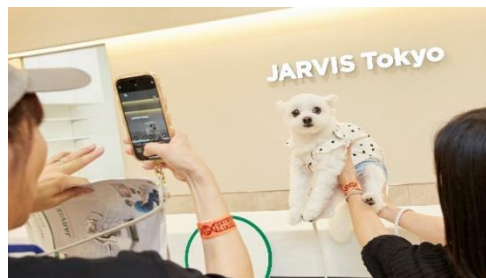
▶7月25日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250725/>



『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo』内覧会を開催

9月19日～23日の5日間、開院に先立ち一般向け内覧会を開催。



▶7月25日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250725/>

日本初のライブロボット手術カンファレンス開催

10月4日、ライブロボット手術とメディア向け内覧イベントを開催。



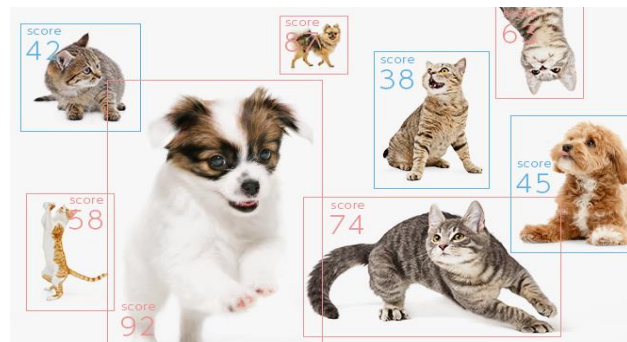
▶9月12日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250912/>



ペットの動画から感情を判定するAIシステム、日本に続きアメリカでも特許を取得

AIを用いてペットの動画から感情を判定するシステムとその感情判定方法について、日本での登録に続き、アメリカでの特許を取得。人の言葉を話さないどうぶつと、真に話せる世界の実現に向けて取り組んでいる。



▶9月17日付ニュースリリース

<https://www.anicom.co.jp/news-release/2025/20250917>

「一般財団法人 アニコム健康寿命延伸財団」の設立

人とペットの健康寿命の延伸に向けた中立的かつ学術的な研究の推進を目的として、「一般財団法人 アニコム健康寿命延伸財団」を設立。国内最大規模の保険・獣医療データを、より広く社会に還元し、学術的な発展と予防医療の浸透に貢献することを目指す。



一般財団法人
アニコム健康寿命延伸財団
Anicom Institute for Healthy Longevity

▶8月19日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250819/>

最高齢さんを表彰する『ご長寿アルバム』公開

「敬老の日」に先立ち、アニコム損保にご契約いただいている長寿のどうぶつを表彰する『ご長寿アルバム2025』を公開。この取り組みは2010年から継続している。



▶9月10日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250910/>



『CRYSTAL JOY』が東京都新宿区のふるさと納税返礼品に採用

革新的酸化制御技術「MA-T System®」を活用したペット用口腔ケアジェル『CRYSTAL JOY』が、東京都新宿区のふるさと納税返礼品として採用。「MA-T System®」とは、亜塩素酸イオンから必要な時に最適な量の水性ラジカルを生成させる酸化制御技術で、第6回日本オープンイノベーション大賞において内閣総理大臣賞を受賞している。

▶7月24日付ニュースリリース

https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250724.html



「7Days Food」に”アソートセット”が新登場

愛犬の食事を美味しく、健康的にサポートする人気の「7Days Food Freeze Dry(セブンデイズフードフリーズドライ)」の全7種類を楽しむ「7Days Food Freeze Dry アソートセット」の販売を開始した。

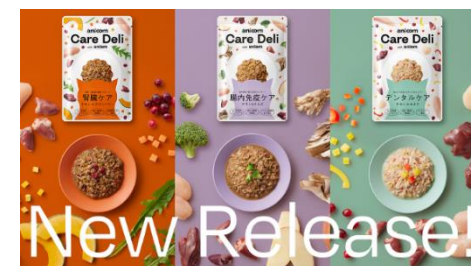


▶9月1日付ニュースリリース

https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250901.html

猫用ケアフード「Care Deli」が新登場

株式会社uniamと共同開発した機能性ウェットキャットフード「anicom Care Deli with uniam」において、新たに「腎臓ケア」「腸内免疫ケア」「デンタルケア」の3商品の販売を開始した。



▶9月3日付ニュースリリース

https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250903.html



「新宿御苑前どうぶつ病院」で職場体験を実施

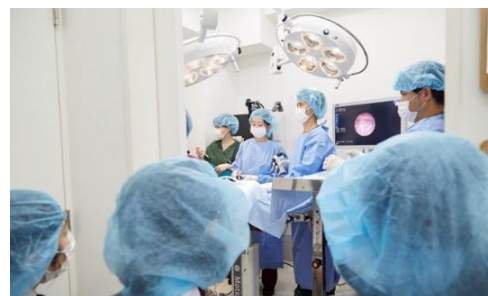
都内の私立中学に通う中学3年生9名を対象に、グループ病院である「新宿御苑前どうぶつ病院」にて3日間の職場体験を行った。

▶8月6日付ニュースリリース

<https://www.anicom.co.jp/news-release/2025/20250806/>

■生徒の皆さまの声(一部)

普段見ることのできない手術の様子を間近で見学することができて、とても嬉しかったです。実際の現場の空気を感じることができて、貴重な経験になりました。



日本レスキュー協会の災害支援事業に参画

認定NPO法人日本レスキュー協会が推進する災害支援事業において、「企業との協働による災害支援体制強化」に参画。その中でアニコム パフェは、災害発生時に課題となる「避難所での動物管理」の分野において、クラウド型カルテ管理システム『アニレセクラウド』の活用可能性を検証し、災害時に企業が果たすべき役割や支援のあり方を協議・検討する。

本事業を通じて、避難所運営の円滑化や飼い主様とペット双方の安心につながる仕組みづくりに貢献するとともに、当社の持つ資源・ノウハウを活かした持続的な災害支援体制の構築を目指す。

▶9月12日付ニュースリリース

https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250912.html

3. トピックス⑤ 資本政策・株主還元



自己株式の取得状況

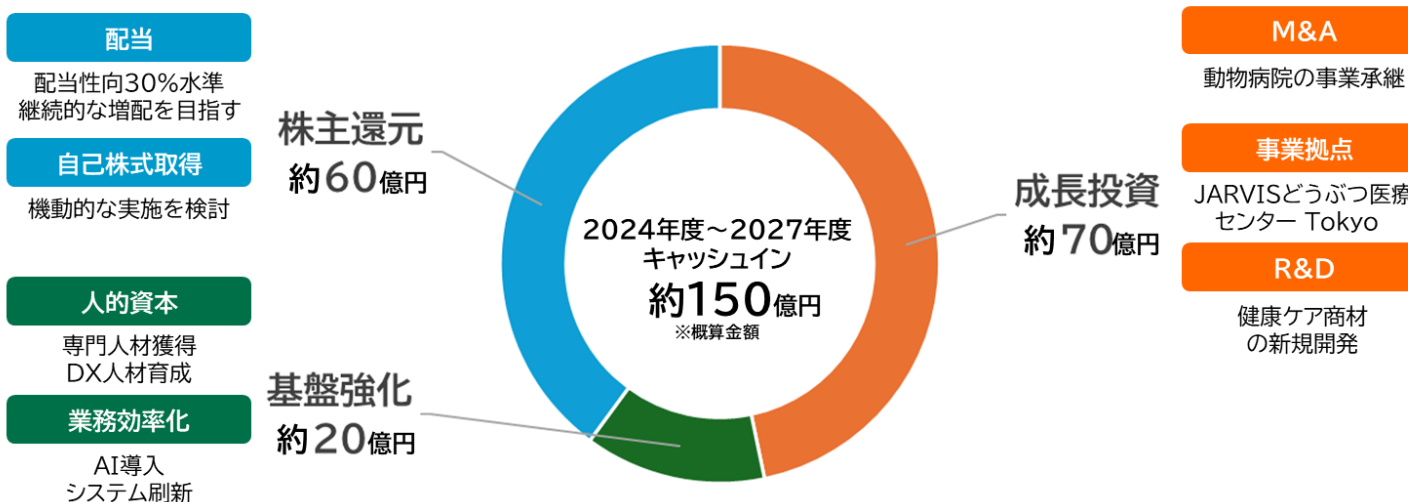
■ 概要

- ・ 2025年5月9日、10億円(2百万株)を上限とする自己株式取得の実施を決定
- ・ 2025年6月2日～2025年9月30日の期間で取得予定
- ・ 2025年9月22日の買い付けで、約10億円の取得を終了

■ 中期経営計画 資本政策方針

ESRを適正水準に保ちつつ、『成長投資』、『基盤強化』、『株主還元』の最適なバランスを目指す

キャッシュアロケーション



【ESRの影響】

- ・ 責任準備金などの資産および負債を、経済価値ベースで評価する新たな法規制
- ・ 従来の「その他保険」から、リスク係数の低い「ペット保険」への区分変更
- ・ 余剰資本の活用を検討

3 APPENDIX

1. 主要経営パラメータ

2. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ

（ペット保険新規契約獲得件数／保有契約件数の推移）

3. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ

（損害率（E/I）、既経過保険料ベース事業費率）





1. 主要経営パラメータ

	25年3月期 2Q	25年3月期末	26年3月期 2Q	対前年同期比		対前期末比		26年3月期末 (5月9日予想)
				件数	率	件数	率	
① 保有契約数	1,236,904 件	1,287,923 件	1,347,456 件	110,552 件	8.9 %	59,533 件	4.6 %	1,390,000 件
② 新規契約数	117,552 件	245,771 件	138,503 件	20,951 件	17.8 %	-	-	280,000 件
③ 継続率	88.1 %	88.2 %	88.4 %	-	-	-	-	88.2 %
④ 保険金支払件数	2,285 千件	4,564 千件	2,439 千件	154 千件	6.7 %	-	-	4,804 千件

	25年3月期 2Q	26年3月期 2Q	対前年同期比 増減	26年3月期末 (5月9日予想)
⑤ E/I損害率	61.4 %	62.6%	1.2 pt	61.1 %
⑥ 既経過保険料ベース事業費率	32.1 %	34.6%	2.5 pt	33.6 %
⑦ コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)	93.5 %	97.2%	3.7 pt	94.7 %

	25年3月期末	26年3月期 2Q	対前期末比 増減
⑧ 単体ソルベンシー・マージン比率	345.2 %	351.5 %	6.3 pt

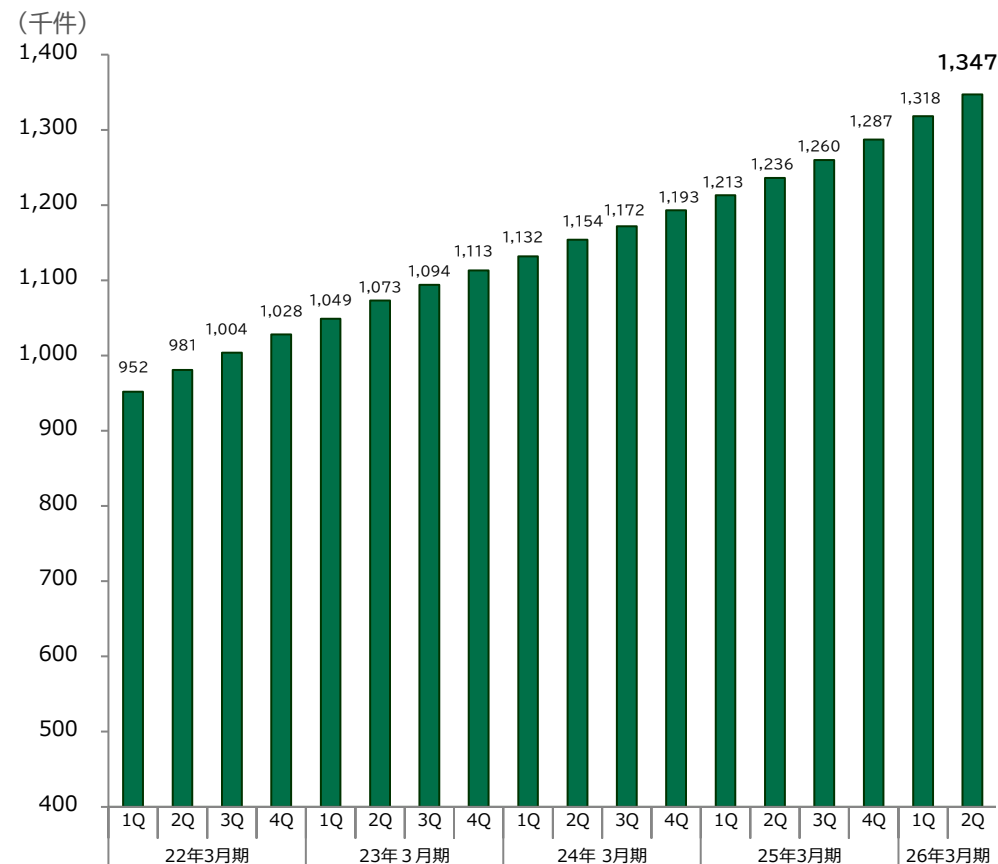
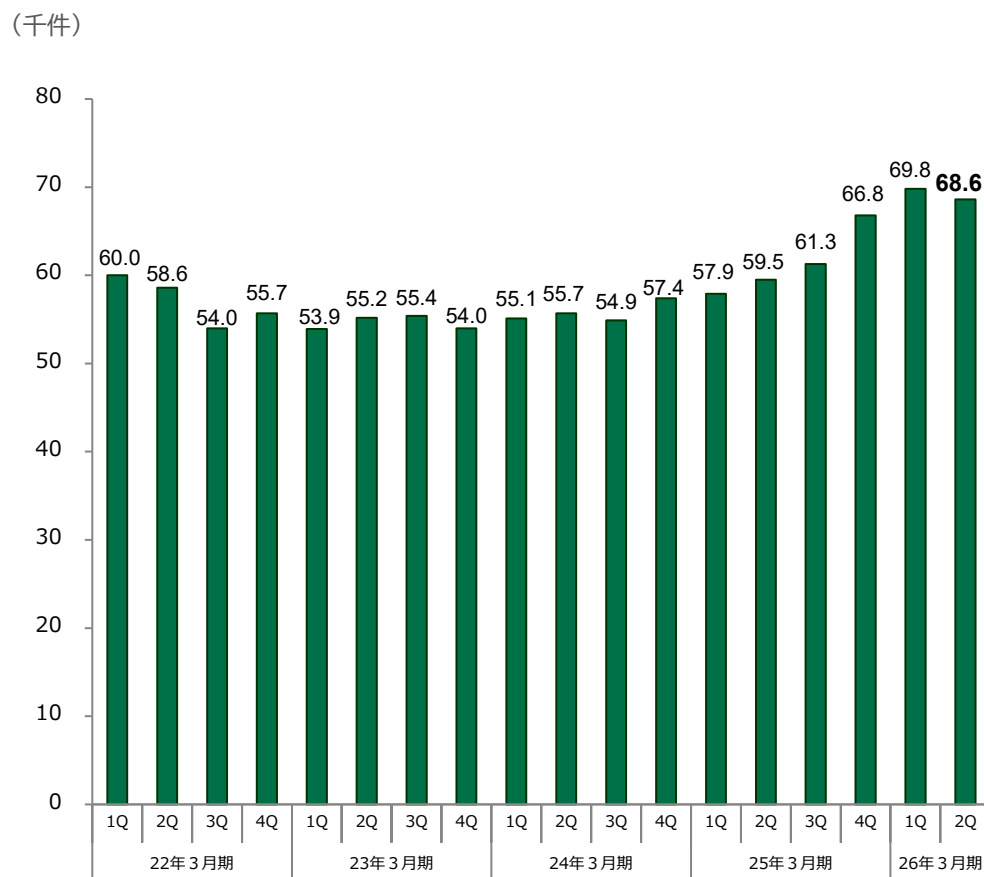
	25年3月期 2Q	26年3月期 2Q	対前年同期比 増減
⑨ どうぶつ健活(腸内細菌叢検査)申込数	117,004 件	126,643 件	8.2 %
⑩ 対応動物病院数	6,919 病院	7,008 病院	1.3 %

2. アニコム損保単体:経常収益のパラメータ



新規契約獲得件数の四半期推移

保有契約件数の四半期推移



3. アニコム損保単体:経常費用のパラメータ



【参考情報】

15年3月期 1Q

■保険料改定
・平均12%の改定

15年3月期 3Q

■限度日数付き新商品
■健康割増引制度導入

18年3月期 2Q

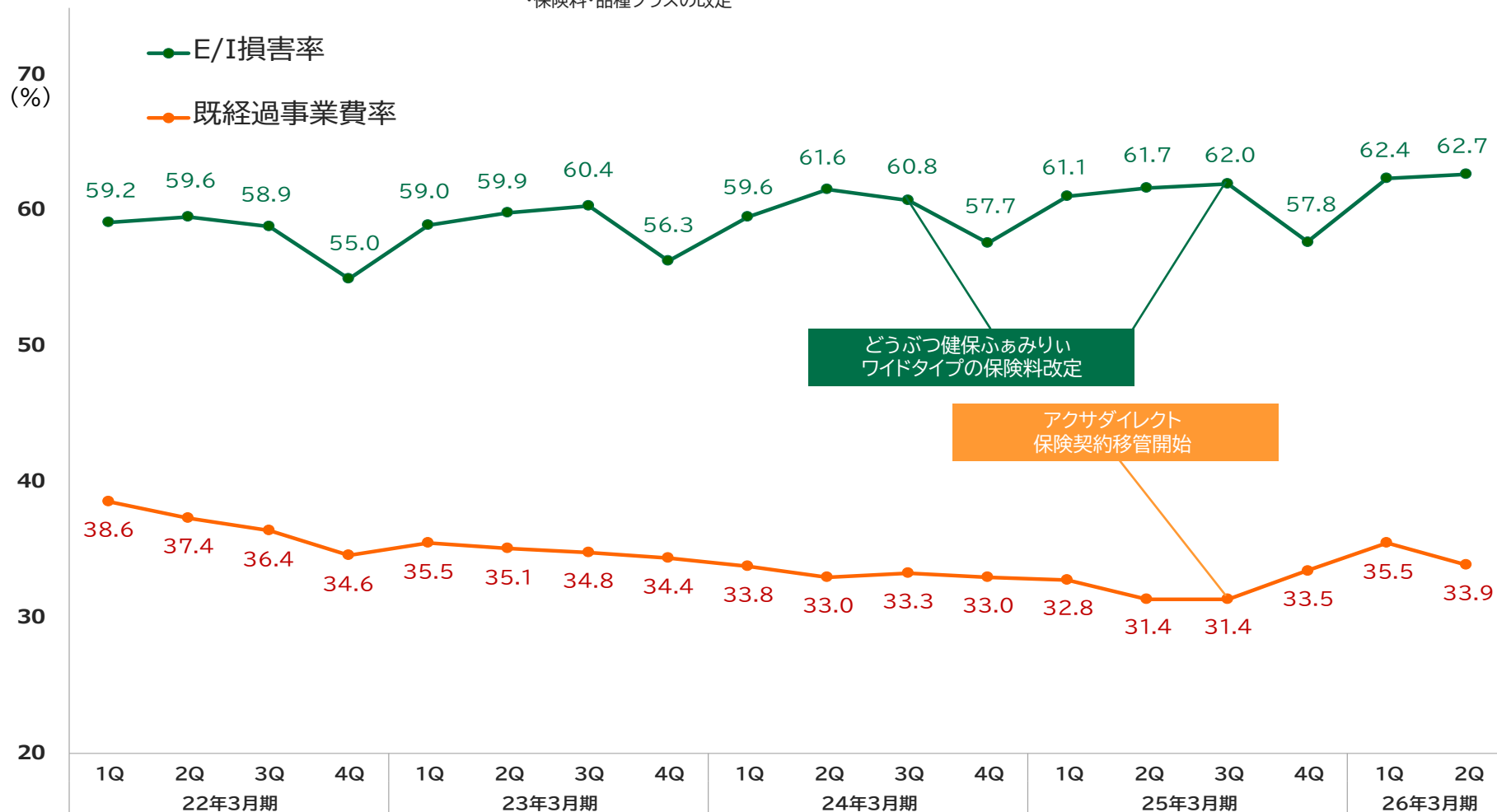
■保険料率改定
・8歳以上の保険料改定

19年3月期 3Q

■「どうぶつ健活」の導入
■保険料改定
・保険料・品種クラスの改定

注1) 下表は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。

注2) 事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」(損保事業費÷既経過保険料)を表しております。

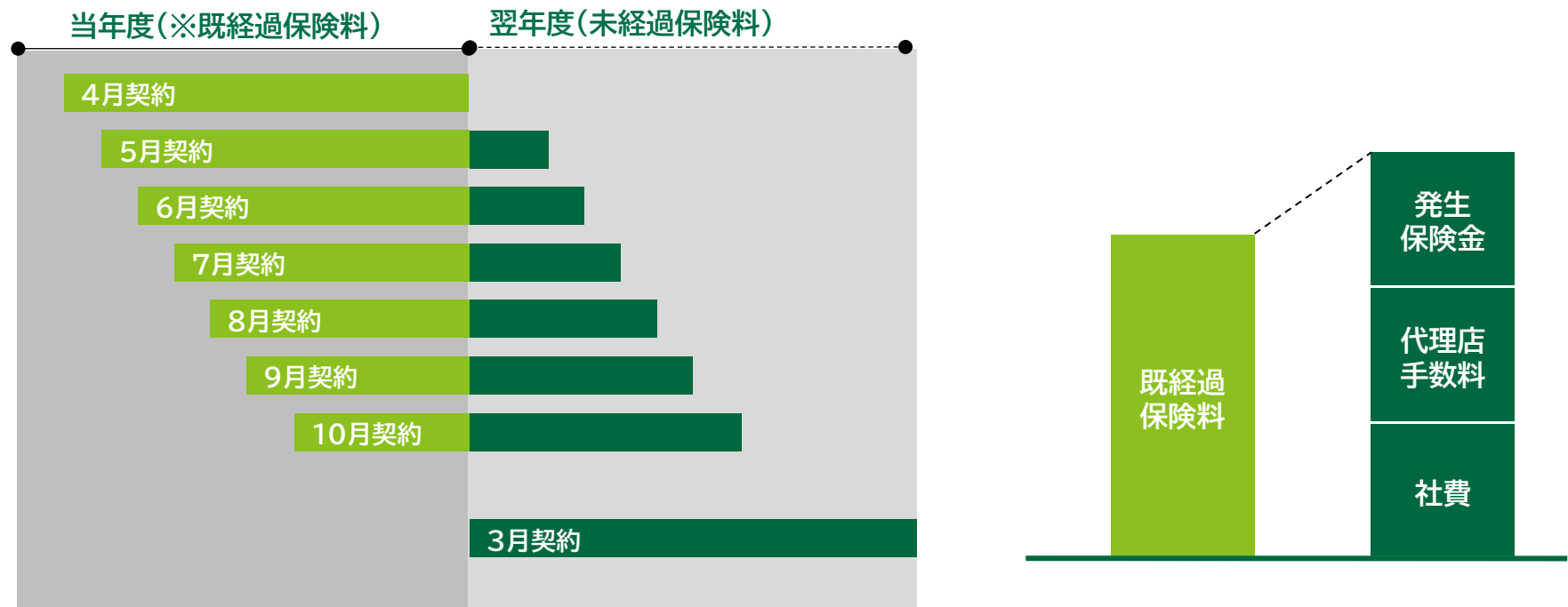




(参考) 保険会計が経常損益に与える影響

1. 保険料の増加が経常損益に与える影響(日本の損保会計ベース)

一般的に、保険料の増加は経常収益の増加に寄与しますが、事業年度における保険料の未経過期間部分については、普通責任準備金(未経過保険料)として次年度に繰り越すことが法令により定められています。一方で、発生保険金、代理店手数料、社費等の費用については、保険料の増加に対応する費用を含め、これらの費用が発生する年度において計上することとされています。したがって、保険料の増加に伴い増収となる場合であっても、当該費用が既経過保険料を超過する場合は、当該年度の経常損益にマイナスの影響を与えることとなります。



2. 異常危険準備金が経常損益に与える影響(日本の損保会計ベース)

- ・異常危険準備金は、巨大災害等が生じた場合の保険金の支払いに備えるために法令により積み立てておくこととされているものであり、各保険会社が毎期積み立てを行っているものです。
- ・異常危険準備金は、正味損害率(※)が50%を超えると取崩し(費用のマイナス)が行われます。(※)正味支払保険金を正味収入保険料で除した割合です。



お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部 (IR事務局)

東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

www.anicom.co.jp

本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しておりますため、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。そのため、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おください。従いまして、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。